2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報

科目名(英)	起業学（Theory of Entrepreneuring ）		
ナンバリングコード	A20206	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎科目 / 標準レベル 人間力コア科目/キャリア科目
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 後期
必修・選択区分	選択		
授業コード	A028353	クラス名	－
担当教員名	長﨑　浩介、橋本　堅次郎、泉　丙完、工藤　順一		
履修上の注意、履修条件	あなた自身が起業するつもりで授業に臨むこと。		
教科書	レジュメやパワーポイントなどを使用します。		
参考文献及び指定図書	「その他」欄参照		
関連科目	経営学入門、マーケティング論、ブランド学、広告論		

○成績評価の指標 / ○成績評価基準（合計100点）

到達目標の観点	到達目標	テスト（期末試験・中間確認等）	提出物（レポート・作品等）	無形成果（発表・その他）
【関心・意欲・態度】	起業への関心を高め、起業についての意欲を持つ。	10点		
【知識・理解】	起業の歴史、実際のベンチャー企業への理解を深めるとともに、起業に関する会計などの周辺知識を習得する。	30点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	レポートや試験の記述を通して、論理的な表現能力を高める。	10点	10点	
【思考・判断・創造】	起業についての幅広い思考能力を高め、まず起業への興味を高めて、創造力や判断力も高める。	20点	10点	

○成績評価の補足（具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法）

毎回の授業においてレポートを課します。レポートは、テーマに沿って自分の言葉で書いてください。レポートの提出状況は成績評価に反映します。
期末試験では、授業の中で学んだ内容について幅広く出題します。期末試験の実施方法については、第12回以降の授業において説明します。

○授業の目的・概要等

授業の目的	今、起業ないし起業支援が各方面から注目されている。日本経済を活性化するためには、自ら新しい商品（技術・サービス）を開発し、新しい市場の開拓に挑戦する「ベンチャービジネス」を始めとする独創的な新しい企業の出現が大きく期待されています。 この授業では、ベンチャーを起こす意味や社会背景について理解するとともに、学生によるベンチャー起業家を育成するために、豊かな発想力や行動力をどのように養成したらよいのか、さらには資金面やマネジメントの問題をどう解決すればよいのかなどについて学びます。	
授業の概要	民間企業での実務経験を有する教員を中心に、複数の教員が交代で授業を行います。教員によって授業の進め方は異なりますが、「将来起業できる人材を育成する」という目標は同じです。皆さん自身が起業家になったつもりで授業に臨んでください。	
授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」
	（3）アクティブ・ラーニング	双方向授業
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	この授業の講師陣には、民間企業での実務経験者が多数含まれます。具体的には、新製品開発や創業支援などです。これらの経験を学生の皆さんにわかりやすく説明することで、起業の大変さと楽しさを皆さんに伝えていきます。 この授業を受けた学生の中から、将来多くの起業家が生まれることを期待しています。	

○その他

【参考文献】
柳孝一、長谷川博和『ベンチャー企業論』放送大学教育振興会、2005年
Jeffry A. Timmons『ベンチャー創造の理論と戦略―起業機会探索から資金調達までの実践的方法論』ダイヤモンド社、1997年
小室直樹『小室直樹 経済ゼミナール 資本主義のための革新』日経BP社、2000年
本田宗一郎『本田宗一郎 夢を力に―私の履歴書』日経ビジネス人文庫、2001年
菊池 恭二『宮大工の人育て 』祥伝社新書、2008年
國貞克則『増補改訂 財務3表一体理解法』朝日新書、2016年

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 : 起業学（Theory of Entrepreneuring ）　授業コード:A028353
担当教員: 長崎　浩介、橋本　堅次郎、泉　丙完、工藤　順一

学修内容

1. 授業ガイダンス【長崎】
本年度のこの授業は、Google Classroomをプラットフォームとした遠隔授業により実施します。この回では、この授業の全体像を示すとともに、Google Classroomを利用した授業の進め方、レポート提出のしかたなどについて説明します。

予習: 我が国でなぜ「起業」が推奨されているのか、その理由を調べて考えましょう。（約2.0h）
復習: 授業シラバスを読み、この授業の全体像を把握しましょう。（約2.0h）

2. なぜ「起業学」を学ぶのか【工藤】
最近、ネットやテレビ広告でも「起業支援・創業支援」という言葉をよく聞くようになりました。国は盛んに「起業・創業を支援し日本経済を活性化！」とPRしています。その理由は、廃業等により日本の中小企業数がどんどん減っているからです。一方、これから事業を始めようという起業意識は相変わらず低く、開業率の低さがそのまま日本経済の低迷につながっています。今回は、そうした起業を取り巻く情勢を学び、起業家の輩出に対応できるような教育制度の改革が求められていることについても学習します。

予習: あなたの周りにある新聞や雑誌の中から企業に関係する記事をピックアップしてみましょう。（約2.0h）
復習: 起業するとはどういうことなのか、起業がなかったら、あなたの地元の町がどうなるのかを考えてみましょう。（約2.0h）

3. 起業の心構え【工藤】
今回は起業者に求められる起業の心構えについて学びます。中小企業庁によるガイドブック「夢を実現する創業」の中で取り上げられている起業の心構え（資質）、アメリカの経営学者ピーター・ドラッカーがマネージャーに求めた心構え（資質）を学びます。次に、ドラッカーが尊敬したという日本の渋沢栄一や出光佐三の考えも学びます。渋沢は「士魂にして商才がなければならぬ。商才は道徳と離るべからざるものとすれば、道徳の書たる論語によって養える訳である」といっています。起業家が起業するに当たり、どういう心構えでいたら良いか、近江商人の商売10訓も参考にしながら考えてみましょう。大分の元気なベンチャー企業も紹介しましょう。

予習: 渋沢栄一がどのような人物であるかを、事前に調べておきましょう。（約2.0h）
復習: 士魂と商才とは、何を表しているのかをレジュメを見ながら、確認しておきましょう。（約2.0h）

4. 創業に必要な準備（資金や設備）【工藤】
今回は、創業に必要な準備について学びます。創業するのに何を準備したらよいのか、それ自体が分からない方がほとんどです。そこで、日本政策投資銀行等による「創業の手引き」というガイドブック等を紹介します。ガイドブックの中にある、創業計画書の作り方や資金計画、創業に伴う届出、従業員の採用等の支援を通して創業準備を学習します。また、工学部の学生もいますので、法隆寺金堂・法輪寺三重塔・薬師寺金堂等の復興をされた宮大工の西岡常一氏の名言等を紹介します。

予習: 創業するに当たり、どのような準備をすべきかを、ヒト、モノ、カネ、情報の面から考えてみましょう。（約2.0h）
復習: あなたが創業するとしたら、足りないものは何かをピックアップしてみましょう。（約2.0h）

5. 創業と守成 （企業の事例研究）【橋本】
事業を育て上げた後に待っているのはその事業を次の世代に引き継ぐことです。事業の承継がうまく行かない事例がマスコミを騒がすように、事業承継は大変に難しいものです。実際の承継事例を検討しながら承継について学生と一緒に考えます。

予習: 「創業は易く、守成は難し」という言葉の意味について、事前に調べてきましょう。（約2.0h）
復習: 授業の中で企業の事例をとりあげますので、自分にできる創業を考えてみましょう。（約2.0h）

6. 創業と守成、承継【橋本】
事業を育て上げた後に待っているのはその事業を次の世代に引き継ぐことです。事業の承継がうまく行かない事例がマスコミを騒がすように、事業承継は大変に難しいものです。実際の承継事例を検討しながら承継について学生と一緒に考えます。

予習: 事業承継とはどのようなことなのかをインターネット等で調べてきましょう。（約2.0h）
復習: 起業と事業承継の関係について、地域活性化の観点から考えてみましょう。（約2.0h）

7. さまざまな起業家達【橋本】
起業というとITを中心にした起業を思い浮かべますが実は社会起業家など起業の種類は大変に幅広いものです。また起業する年齢も実はシニア起業家と言われるように中高年の起業の比率は高いものになっています。起業という一言ではかたずけられない世界を事例をあげながら一緒に考えていきます。

予習: ホンダやシャープの創業者について、なぜ起業したのかという観点で調べてきましょう。（約2.0h）
復習: 戦後多くの起業家が日本から生まれましたが、多くの起業家が出てきた理由について考えてみましょう。（約2.0h）

8. 起業とマーケティング【梅本】
ビジネスを行うということは、マーケットと向き合うことです。マーケットを見ないビジネスはあり得ません。この回では、マーケットとの向き合い方であるマーケティングの基礎を、起業の観点から学びます。 起業するにあたって必要なマーケティング知識について、マーケティングの重要なフレーワークであるSTP分析、4Pを中心に学んでもらいます。
マーケティングは実践的な学問ですので起業だけではなくビジネス社会で必要な知識です。ぜひ、この機会に学んでください。

予習: マーケティングとは何か、どんな手法があるか、自分で調べてみましょう。（約2.0h）
復習: 自分が起業した場合にどのようなマーケティング手法を適用するのか、検討してみましょう。（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 : 起業学（Theory of Entrepreneuring ）　授業コード:A028353
担当教員: 長崎　浩介、橋本　堅次郎、泉　丙完、工藤　順一

学修内容

9. eビジネス起業演習【泉】
近年、GAFAMに代表される巨大eビジネス企業が大きな社会変革をもたらしています。授業ではこれらの企業の成功要因、社会に与えた影響や技術動向を学びます。また、これらのイノベーションを起こしたeビジネスの事例をもとに、次の時代の新たなeビジネスの起業提案を検討します。

予習: eビジネスとはどういうものかを、インターネットの中から見つけてきてください。（約2.0h）
復習: eビジネスが成功している理由がどこにあるのかを、インターネットの中から調べてきましょう。（約2.0h）

10. eビジネス起業演習／データサイエンス入門【泉・黒田】
将来の事業シーズとして有力視されるデータサイエンス（例えば位置情報の活用）について、入門的な内容を学びます（黒田）。また、データサイエンスを用いた今後の新たなビジネスの起業提案を検討します。

予習: データサイエンスとはどういうものかを、インターネットの中から見つけてきてください。（約2.0h）
復習: データサイエンスが実際のビジネスに活用されている例について調べてみましょう。（約2.0h）

11. 宇宙ビジネス【中川】
内閣府と経済産業省が選定する「宇宙ビジネス創出推進自治体」に大分県が選定されるなど、大分県においても宇宙ビジネスへの関心が高まっています。この授業では、宇宙ビジネスの現状と今後の展望について学びます。

予習: 宇宙開発がビジネスとどうつながるのか、事例を調べながら考えてみてください。（約2.0h）
復習: 宇宙ビジネスの成功事例を調べてみましょう（約2.0h）

12. 起業と資金調達(1)資金調達の方法とクラウドファンディング【長崎】
起業や新規事業を始めるときの資金調達の方法はいくつかありますが、近年新しい方法としてクラウドファンディングが注目されています。この回では、企業の資金調達の方法について、その全体像を示した上で、そのひとつであるクラウドファンデングについて学びます。

予習: 企業の資金調達手法にどのようなものがあるか、調べてみましょう。（約2.0h）
復習: クラウドファンデングの成功事例について調べてみましょう。（約2.0h）

13. 起業と資金調達(2)資金計画【長崎】
起業をするにはまず元手（事業資金）が必要です。事業を始めるのに必要な資金は、運転資金と設備資金に大きく分けられます。この回では、それぞれの資金について説明した上で、起業の際にどのように資金計画を立てたらよいのかについて説明します。

予習: 運転資金と設備資金とはどのようなものか調べてみましょう。（約2.0h）
復習: 関心のある業種について、仮に自分が起業するとしたらどのような資金がいくら必要かリストアップしてみま（約2.0h）

14. 起業と資金調達(3)金融機関からの資金調達【長崎】
資金を調達する方法は、自分で用意する方法（自己資金）と金融機関から借り入れる方法の2つに大きく分けられます。創業時の企業は信用力に乏しいので、ある程度の自己資金を用意した上で政府系金融機関や民間金融機関から融資を受けるのが一般的です。この回では、金融機関からの資金借入れについて、その仕組みと方法について学びます。

予習: 政府系金融機関や民間金融機関にどのようなものがあるか調べてみましょう。（約2.0h）
復習: 政府系金融機関や民間金融機関の融資メニューにどのようなものがあるか調べてみましょう。（約2.0h）

15. 起業と資金調達(4)金融機関の融資審査【長崎】
金融機関の融資は、申し込んだら必ず受けられるわけではありません。財務諸表や事業計画書などを提出して、審査にパスする必要があります。この回では、金融機関はどのような点に着目して融資審査を行っているかについて説明します。

予習: 金融機関の融資審査（事業資金に限らず、住宅ローンやマイカーローンなど）について自分で調べてみましょう。（約2.0h）
復習: 金融機関から融資を受けるためにはどのようなことに気を配るべきか、自分で考えてみましょう。（約2.0h）

16. 期末試験
期末試験を実施します。

予習:
復習: